

# 小さな改良で利便性（バリアフリー化）が大きく向上！

## 世田谷区の文化・経済の交差点「三軒茶屋」

三軒茶屋交差点は、国道246号と都道世田谷通り、区道の茶沢通りが交差する交通量が多い交差点。

隣接する三軒茶屋駅の1日平均乗降者数は約12万人。

交差点界限には、区役所分庁舎、病院、福祉施設、商業施設などが点在、交差点の利便性の向上が求められていた。

都内でも有数の事故多発箇所。

### 位置図



三軒茶屋交差点改良事業

産経新聞 平成22年3月3日(水)

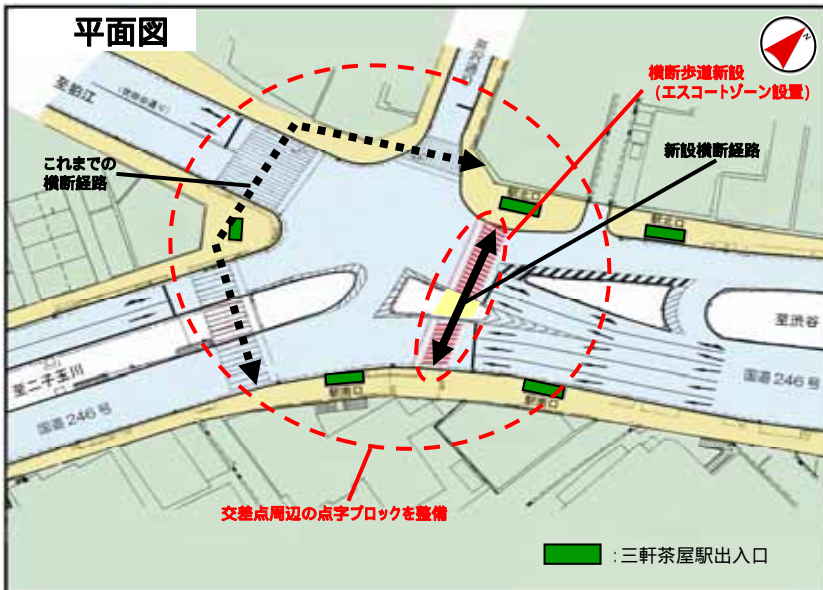


## バリアフリーようやく実現



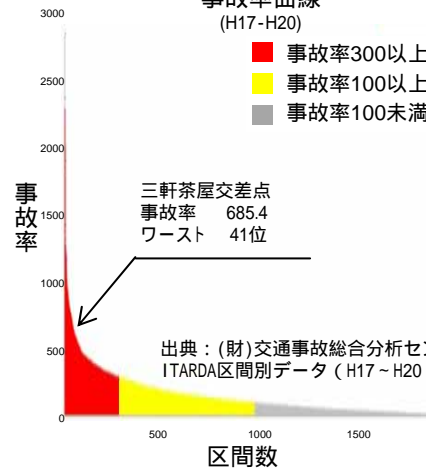
### 車いすで国道246号横断

### 平面図



三軒茶屋駅出入口

### 事故率曲線 (H17-H20)



三軒茶屋交差点  
事故率 685.4  
ワースト 41位

出典：(財)交通事故総合分析センター  
ITARDA区間別データ (H17~H20)

## 利便性が向上した歩行者空間

これまで、三軒茶屋駅北口方面と南口方面を行き来するためには、最大で3箇所の車道横断が必要でありましたが、横断歩道の 신설により1箇所での車道横断が可能となることから、利便性や安全性が向上。(利便性向上)

横断歩道をバリアフリー化(エスコートゾーン設置、視覚障害者誘導用ブロック設置)したことに伴い視覚障害者等の歩行者の安全性が向上。(交通安全)

交差点改良後は、住民、商店街関係者ともに、歩道空間の利便性、快適性が向上と評価。

### 状況写真(供用後)

横断歩道新設に伴う改良



エスコートゾーンの設置

交差点周辺の点字ブロックを整備



点状ブロックを撤去